

令和 6 年度 下 半 期 指 定 管 理 者 管 理 運 営 状 況 シ ー ト

●施設の概要

施設名	黒野児童館	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市古市場20番地1		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	17,306,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建 ◇敷地面積:1,284.56㎡ ◇延床面積:599.78㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書室、勉強室、体育室、事務室 ※岐阜市立黒野保育所との合築		

●利用状況

		R6下半年	R6上半期	R5下半年	R5上半期	R4下半年
利用者数 (単位:人)	来館者数	6,478	7,790	6,588	7,060	6,897
	移動児童館利用者数	99	46	164	118	235
各室稼働状況	移動児童館実施回数(単位:回)	※4(4)	※3(3)	※4(3)	※4(3)	※11(11)
	開館日数(単位:日)	151	154	151	155	151

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①計画通り実施しました。 開館時間を17:00までとし、17:00以降15分間を館内清掃時間としました。 また、13:00からは館内清掃、消毒を実施し感染症防止に努めました。 ②常勤職員4名、うち保育士1名、児童厚生員1名を配置しました。 ③児童用と乳幼児用のおたよりを毎月発行しました。 児童用おたよりは、地区内の小学校6校に配布。 乳幼児用おたよりは、来館された皆様に配布しました。 ホームページは、スマートフォンにも対応し、市民の皆様へのお知らせやブログなどタイムリーで分かりやすく配信しました(下期19回更新)。また、当岐阜市社会福祉事業団が管理している他の8施設や、岐阜市柳ヶ瀬子育て支援施設「ツナグテ」のホームページとリンクを貼り、他館の情報も入手しやすくしました。 Instagramによる情報発信を行いました。(投稿34件、フォローワー261人) 気象警報発令時の休館などの情報は、迅速にホームページにUPLしました。 ④ご意見箱を設置し利用者からのご意見・ご要望をいただける体制としました。また、苦情解決の仕組み・苦情の申出先を館内掲示することで苦情に対し適切に対応できる体制としました。 児童・保護者を対象にアンケートを1回実施しました。 ご意見箱に寄せられた苦情・意見、アンケート結果は、逐次館内に掲示するとともに、改善できるものは迅速に対応しました。 アンケートについては、ご意見ご要望も含めホームページで公開しました。 ⑤仕様書、事業計画書に基づき事業を実施しました。
自主事業 提案事業		

<p>施設管理</p>	<p>①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理</p>	<p>①管理者点検マニュアルにもとづき保守点検を適切に実施しました。また、安全計画にもとづく施設・設備の安全点検を実施しました。 ②施設の清掃は、職員による日常清掃のほか、就労継続支援B型事業所により週2回の清掃を実施しました。快適で安全に施設を利用していただくため、エアコンの温度管理と換気、トイレの清浄には特に気を付けました。新型コロナウイルス感染予防については、毎日玩具・遊具、本の消毒を行いました。園内の草取りや落ち葉の清掃、花壇の手入れを行うなど環境整備にも努めました。 ③未使用の部屋の電気、エアコン等スイッチを切り、適切な温度設定、フィルター清掃などを行い節電に努めました。また、スポンジ、ペットボトル、牛乳パックなどの廃材を事業に活用するなど環境に配慮した施設運営に心がけました。 ④月1回の職員による施設の安全点検・遊具点検、月2回のAED器具の点検、毎日の消毒、清掃を行い、遊具・玩具、設備、備品の維持管理に努めました。</p>
<p>施設修繕</p>	<p>下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備</p>	<p>①緊急性があると判断した修繕は、岐阜市社会福祉事業団事務局及び岐阜市に即時報告して判断を仰ぐ方針としました。また、利用者の安全が確保できないものは、安全が確保されるまで利用を中止する方針としました。 ②故障したおもちゃなどはおもちゃ病院(ボランティア団体)の皆様により月1回訪問された際、修繕していただきました。</p>
<p>危機管理 法令遵守</p>	<p>①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守</p>	<p>①、②、③、岐阜市社会福祉事業団個人情報保護規程、災害対策マニュアル、児童福祉法等関係法令を遵守し適切に実施しました。 災害や事故等が発生した場合には、岐阜市社会福祉事業団事務局並びに岐阜市へ迅速に報告する体制を維持しています。個人情報が記載された用紙は、使用后すべてシュレッダー処理を行い個人情報の漏洩防止を徹底しました。 非常用備品の点検により期限の確認と不足品の補充を実施しました。</p>

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p><保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 期間: 令和6年12月1日～令和6年12月28日 回答者数: 57人</p> <p><小・中・高校生用アンケート> 期間: 令和6年12月1日～12月28日 回答者数: 50人(小学:1年0人、2年10人、3年9人、4年18人、5年10人、6年0人) (中学:1年0人、2年1人、3年1人)(高校:1年0人、2年0人、3年0人)、無回答1人</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p><保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート></p> <p>【校区】 黒野15人、西郷15人、七郷12人、城西5人、木田3人、島2人、常磐2人、その他市内3人</p> <p>【年齢】 10代(2%)、20代(16%)、30代(54%)、40代(28%)、50代以上(0%)</p> <p>【利用頻度】 初めて(0%)、ほぼ毎日(0%)、週2～3回(7%)、週1回(19%)、2週に1回(26%)、月1回(32%)、その他(16%)</p> <p>【来館相手】 子・孫(95%)、友人(2%)、その他(3%)、</p> <p>【子・孫の年齢】 0歳(20%)、1歳(24%)、2歳(20%)、3歳以上(34%)、未記入(2%)</p> <p>【来館方法】 徒歩(9%)、自転車(16%)、自家用車(75%)</p> <p>【何で知った】 ホームページ(44%)、広報紙・チラシ(5%)、学校(5%)、保育所・幼稚園(2%)、知人・友人(21%)、ぎふし子育て応援アプリ(0%)、ブログ・SNS等(4%)、その他(19%)</p> <p>【評価】</p> <p>(あいさつ) 満足(96%)、ほぼ満足(4%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(言葉づかい) 満足(96%)、ほぼ満足(4%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(利用者対応) 満足(91%)、ほぼ満足(5%)、普通(4%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(利用しやすさ) 満足(91%)、ほぼ満足(7%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(整理整頓) 満足(93%)、ほぼ満足(5%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(清潔感) 満足(88%)、ほぼ満足(12%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(換気) 満足(91%)、ほぼ満足(9%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p><小・中・高校生用アンケート></p> <p>【学校名】 黒野小(46人)、岐北中(2人)、その他市内(2人)</p> <p>【学年】 小学: 1年(0%)、2年(20%)、3年(18%)、4年(36%)、5年(20%)、6年(0%) 中学: 1年(0%)、2年(2%)、3年(2%) 高校: 1年(0%)、2年(0%)、3年(0%)</p> <p>【利用頻度】 初めて(0%)、毎日(8%)、週4・5回(12%)、週2・3回(36%)、週1回(36%)、その他(8%)</p> <p>【来館相手】 ひとり(20%)、友人(74%)、兄弟姉妹(2%)、父母(4%)、祖父母(0%)、親戚(0%)、その他(0%)</p> <p>【来館方法】 徒歩(12%)、自転車(72%)、自家用車(14%)、無回答(2%)</p> <p>【好きな遊び】 ドッジボール(37%)、バドミントン(14%)、ぬりえ(11%)、バンパープール(11%)、卓球(7%)、ボードゲーム(5%)、サッカーゲーム(4%)、シルバニアファミリー(4%)、その他(4%)</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p><保護者></p> <p>○いつもありがとうございます。</p> <p>○先生たちが名前を覚えてくれた、いつも優しいので嬉しいです。</p> <p>○上の子の時にお世話になりました。久しぶりにもかかわらず、覚えていただき嬉しかったです。</p> <p>○いつもあたたかい声かけをしてくださりありがとうございます。楽しいイベントもありうれしいです。</p> <p>○いつもありがとうございます。子どもが笑顔になる企画をお願いします。</p> <p>○満足です。ありがとうございます。</p> <p>○子どもがドレスを気に入っています。</p> <p>○自分が幼少期から使わせていただいています。いつもスタッフの方々が優しく、小さなことにも気遣ってくださりとても嬉しく思います。先程もお伝えさせていただきましたが、常にキレイな施設で子供を安心して遊ばせられます。子供の相手は時に大変だと思いますが、地域の大人として優しく、時にはダメなことはダメと指導してくださるスタッフの方々に親としてとても嬉しく思います。いつもありがとうございます。</p> <p>○子どもたちにも優しく接していただきありがとうございます。黒野児童館が大好きでよく利用させてもらってます。</p> <p>○いつも楽しく利用させていただいています。ありがとうございます。</p> <p>○いつも明るく元気にあいさつしてくださって、うれしいです。元気をもらえて来てよかったなと毎回思っています。おもちゃがもう、ねんきが入っていて、動きが悪いものが時々あるので、新調してもらえたらうれしいです。トミカ多くほしいと息子が言っています。(他の子とかぶるので)</p> <p>→いつもご利用いただきありがとうございます。ねんきの入ったおもちゃ、動きの悪いおもちゃなどは、定期的に点検した上で新しいおもちゃに更新しています。順次更新してまいりますので今しばらくお時間をいただきたく願っています。また、人気のおもちゃについても順次購入しおもちゃの数を増やしてまいりたいと思っておりますので、よろしく願っています。</p> <p>○いつも入ってすぐに元気よくあいさつしてくれてうれしいです。帰る時も見送ってくれて子どもも喜んでます。</p> <p>○いつも元気に迎えて下さりこちらも元気になります。子ども達が先生に慣れていて嬉しい。昨年より足形手形が多い気がする。子どもは動く系の方が楽しむので、増えたらいいなと思う。</p> <p>○他の児童館よりも自由度が高くあそびやすいです。</p>

利用者からの
要望・苦情と
対処・改善

○いつも利用しますが、たまに大きい子(小学生)や下の子を幼児室で遊ばせたいから、上の子(小学生くらい)も一緒に入るとか見かけますが、おもちゃをかしてといってもイヤだとか小さい子がまねしたらあぶないようなことをしたり、見かけると残念です。遊ぶのはいいことですがルールは守ってほしいです。安心してあそばせる用にきてるのに少しばかり残念なこともあります。注意するのも良いですけど、言いづらくて。見て見ぬふりをしてしまう私も悪いですが〇〇〇。

→いつもご利用いただきありがとうございます。この度は不快な思いをさせてしまった事、申し訳ございませんでした。児童館では小学生と未就学児の兄弟姉妹でご利用いただく際には、保護者に対し、小学生は幼児室に入室できないとの説明を来館の都度させていただいています。今後もこのルールを皆さんに徹底してまいります、同様な事案をお見掛けされた場合はご面倒ではありますが職員へご連絡をいただきますようお願いいたします。職員から該当利用者様にお話をさせていただきます。

○いつも親切に対応してくださりありがとうございます。小6の兄もお友達と時々利用しますが、私と一緒に来ないので、ルールを守っているか心配です。大きい子たちの対応もありがとうございます。

○愛想の良い先生が多いので安心して利用させてもらえます。

<児童>

○ドッジボールの時間が短い。

→いつもじどうかんを利用していただきありがとうございます。ドッジボールは人気のあそびなので、なるべくたくさんのお友だちにあそんでもらえるように、1グループあたり20分間にしています。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	S	A	A
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表 ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	S	S	S
		区分評価				S
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	S	S	S
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者のニーズ、苦情の把握 ・利用者のニーズ、苦情、クレームへの着実な対応・運営への反映	S	A	A
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・過不足ない適正な人数配置、無理のない職員体制	A	A	A
		区分評価				S
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の削減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費削減の具体的方策	・管理経費削減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体力増進指導に関し知識技能を有する者)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・職員の連携体制、職場環境の整備	A	A	A
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	S	S	S
		⑬リスクへの対応方策(利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	S	S	S
		区分評価				S
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>利用者アンケートの実施(再掲①④) (公平性透明性①)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数: 1回(12月に実施) ・保護者用(50名) <p>〈職員について〉と〈施設について〉の合計7項目で、「満足」と「ほぼ満足」の合計が7項目すべてで95%以上の高い評価をいただきました。</p> <p>〈職員について〉 あいさつ、言葉づかい、利用者対応の各項目のいずれも「満足」の割合が上期と同様90%以上と高い値を維持しました。</p> <p>〈施設について〉 今期は特に〈施設について〉の満足度向上に向けて重点的に取り組みました。利用のしやすさ(「満足」72%⇒91%)、整理整頓(「満足」86%⇒93%)、清潔さ(「満足」82%⇒88%)、換気(「満足」86%⇒91%)と、4項目すべてで上半期を上回る結果となりました。具体的には、毎週水曜日の午後、幼児室のおもちゃの清拭・消毒、電池で動くおもちゃの動作確認、整理整頓を行い、利用者の皆様がいつでも快適に気持ち良く過ごせる環境づくりに努めました。 ・児童用(50名) <p>児童のニーズを把握し児童館運営に反映させるため、昨年度アンケート項目「児童館に行きたいと思った理由は何ですか」を増やしました。この項目のアンケート結果(回答33件)からは、「友だちと遊べるから」、「たのしいから」など黒野児童館が子どもたちにとって有意義な遊び場として活用され、居場所として機能していることが判りました。 ・利用者アンケートでの意見の反映(再掲①④) <p>利用者アンケートでご意見をいただいた内容について、館の運営に反映できるものはすぐに実行・改善しました。 また、実行できないものについては実行できない理由を説明し、ご理解をいただけるよう務めました。</p> <p>広範で適切な情報提供・広報活動の実施 (公平性透明性②)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Instagramによる広報宣伝活動(再掲②⑥) <p>昨年度から新たにタブレット端末を活用したInstagramを始めました。これにより、多様な手段で幅広い年齢層に、スピーディーに情報を提供できることとなりました。みんなで楽しく活動している姿を多くの人たちにご覧いただき、より多くの人たちにこの活動に参加していただきたいとの願いで記事を作成しました。(下半期投稿回数34回、フォロワー261人) ・全児童館・児童センターの案内をおたよりに掲載(再掲②⑥) <p>毎月発行している乳幼児と保護者向けおたよりの裏面に、岐阜市内すべての児童館・児童センターの所在地を地図上で記載しました。これにより、普段利用している児童館以外の児童館を知っていただくきっかけとなりました。 ・「ツナグテ」利用者へのPR(再掲②⑥) <p>毎月発行しているおたよりを「ツナグテ」のチラシ受けに置いていただき、「ツナグテ」の利用者にも黒野児童館のPRを行うことができました。毎月おたよりを持参していますが、以前よりチラシの減り方が多くなっているため、持参枚数を増やしました。(毎月10枚⇒15枚) ・ホームページでの情報提供 <p>ホームページの更新、最新情報を提供しました。(下半期更新回数19回) ・幼児クラブ申し込み連携(再掲②⑥) <p>登録制幼児クラブで定員を上回る応募があり、残念ながら抽選に漏れてしまった方に対して、他館の幼児クラブに空きがある場合、幼児クラブを紹介できる体制を構築しました。 ・ちびっこまつりの開催(再掲②③④) <p>3月に1歳以上の幼児を対象とした「ちびっこまつり」を3日間にわたり開催したところ、大変好評をいただきました。この行事には、民生委員、まちづくり協議会、青少年育成市民会議、白寿会(老人クラブ)、主任児童委員の、のべ20名を超える皆様にサポートしていただきました。</p> <p>ちびっこまつりは、これまで児童館に来たことがない方、児童館には来たことがあるが幼児クラブに参加されたことがない方などへの絶好のPRの機会となるため、参加されたお母さん方に来年度の幼児クラブや母親クラブの説明したりPRチラシを渡すなど、積極的に広報・宣伝に努めました。</p> <p>業務改善や工夫 (効果性③)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ちびっこまつりの開催(再掲②③④) ・母親クラブ活動の充実(再掲③⑥) <p>普段、家事や子育てに忙しいお母さん方に、少しの間ほっとできる時間を提供し、心をリフレッシュしていただくため、内容を見直し実施しました。</p> <p>具体的には、手指のマッサージ(10月)、クリスマスリースづくり(12月)、コサージュづくり(2月)をそれぞれ実施、講座開催中は託児として民生委員の皆さんにご協力をいただいたことで、クラブ活動に専念できました。 ・「家族みんなで…」イベントの開催(再掲③⑤⑥) <p>男性の主体的な育児参画を促進するため開催していた、「パパと一緒に」を見直し、より幅広く家族みんなで楽しめるイベントとするため、名称を「家族みんなで」に改めました。「家族みんなでハロウィン会」と「家族みんなでせつぶん会」を開催し、これまで以上に多くの家族に楽しんでいただきました。 ・保健師さんによる個別相談の実施 <p>「スマイルひろば」で0歳児を持つ母親を対象に保健師さんのお話を聞き、育児に不安を持つ母親の皆様に個別相談会を実施しました。 ・サイエンスショーの開催 <p>これまでの開催実績、各児童館からの要望、子どもたちのショーでの反応から、「子ども参加型で、実験・体験・驚きを感じられるもの」など、ショーの内容を見直し、子どもたちが自ら体験し、驚き・どよめき、科学に対する興味・関心を高めることができました。</p> <p>新規事業(行事)等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本のローテーションの実施(再掲③⑤) <p>岐阜市が購入した幼児向け絵本20冊の内10冊を原則1か月単位で当事業団が管理する9施設でローテーションを行いました。これにより、各施設では毎月さまざまな絵本に触れることができる機会を提供することができました。 ・おしゃべりタイムの開催(再掲③⑤⑥) <p>0歳児向けクラブであるスマイルひろばでは、1時間の内後半の30分間を「おしゃべりタイム」とし、お母さん方の交流の場を提供しました。お母さん方の中には初めて子育てをするためさまざまな不安を抱えている方もおみえになり、先輩お母さんからアドバイスを受けるなど、お母さん同士の横の交流が活発に行われていました。</p> </p></p></p></p></p></p></p></p></p></p></p>
--------------------------	---

今期の取組み
に対する評価

・食生活改善推進協議会さんとの連携(再掲③⑥⑭)
児童館運営委員さんが、黒野地区食生活改善推進協議会の代表者であることがきっかけで、児童館で開催する幼児クラブに食生活改善推進協議会の活動を取り込みました。今回は2歳以上の幼児を対象としたびよびよクラブで、「味わう教室」というタイトルで、親子でおにぎりを作ったり、やさいたぶりスープを提供していただき、食への興味・関心を持っていただくことができました。お母さんからは「普段はこんなに野菜を食べたことがないのだからたくさん食べてくれました」などの感想をいただき、みんなで一緒に食べる楽しさを味わいました。

利用者のニーズ、苦情、クレームへの着実な対応、運営への反映（効果性④）

・クラフトウィークの投票

翌月のクラフトウィークでどんなクラフトをやりたいかを子どもたちの投票で決定しています。11月のクラフトウィーク「プラン」は、上半期に引き続き子どもたちに大人気で、自分で描いたキャラクターの絵柄でキーホルダーを作ることができました。

・利用者アンケートでの意見の反映(再掲①④)

利用者アンケートでご意見をいただいた内容について、館の運営に反映できるものはすぐに実行・改善しました。

また、実行できないものについては実行できない理由を説明し、ご理解をいただけるよう務めました。

・新しいおもちゃの購入(再掲④⑥)

新しいおもちゃを購入するに際して、どんなおもちゃで遊びたいのか、子どもたちやお母さん方に意見を聞きニーズに沿ったおもちゃを購入しました。

◎配慮を必要とする子どもへ適切な対応を行ったか。

・小学校先生との情報交換会・研修会の開催(再掲④⑬⑭)

小学校のいじめ対策監の先生と、子どもに関する情報を相互に交換し、児童館での様子・小学校での様子を双方が把握し合い、子どもたちへの適切な対応を小学校と連携して進めることとしました。子どもたちの学校・児童館それぞれの様子を共有することで、子どもたちの「変化」に早く気づき、迅速な対応へと繋げるとともに、子どもたちの居場所としての機能充実が期待できます。

・子どもの居場所づくりの推進(再掲④⑬)

昨年度から岐阜市内中学校で始められた「校内フリースペース」の一環として、児童館を不登校児童生徒の居場所としての活用の提案を行いました。日光児童センターはじめ長森児童センターなどで活用していただいています。今後、他の児童センターにおいても「校内フリースペース」としての活用に協力していきます。

・他施設の事例研究

当事業団が管理する児童館・児童センター9館の所長会で、他施設で実際に起きた事例を研究し、配慮を必要とする子どもが利用された際、どの施設でも適切に対応できるようにしました。

利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施（効果性⑤）

・絵本のローテーションの実施(再掲③⑤)

・幼児用絵本の購入

幼児室に新たに設置された読み聞かせコーナーを充実するため、0歳児から3歳児向けの絵本43冊を購入しました。

・入館カード記入機の設置

乳幼児をだっこしたお母さんが児童館に入館される際、中腰になって入館カードに記入しなければならないため新たに入館カード記入機を設置しました。これにより立ったままの姿勢でも楽に入館カードに記入できるようになりました。お母さん方からの評判も良いです。

・「家族みんなで・・・」イベントの開催(再掲③⑤⑥)

・おしゃべりタイムの開催(再掲③⑤⑥)

・異年齢交流の促進(再掲⑤⑥)

「わいわいひろば」や「たんぼひろば」では、幅広い対象年齢の子が一同に参加できる機会を提供し、子ども同士や親同士のコミュニケーションにより社会性を広げることができる機会を提供しました。

・民生委員さんによる託児協力(再掲⑤⑥⑭)

ヨガサークルと母親クラブ開催の際、託児を希望されるお母さんが多かったことから民生委員さんに相談したところ、快く引き受けていただけることになり、毎回児童館に訪問していただいています。(毎月2～3回、1回あたり2～3人)

・寄付遊具の活用(再掲⑤⑨)

今期はエレクトーンをご寄付いただき、児童館1階ロビーに設置しました。小学生から大人まで、自由に演奏できる機会を提供しました。

・ふれあい花壇の活用(再掲⑤⑨)

岐阜市役所都市建設部が実施しているふれあい花壇団体に登録し、花壇に植える花を無償で提供していただき園庭に彩りを添えることができました。今期はハンジュー40株をいただき、玄関前プランターと花壇に植えました。

・おもちゃの清拭の徹底(再掲⑤⑬)

毎週水曜日の午後1時間かけ、幼児室とプレイルーム1のおもちゃを消毒・清拭しました。また、乾電池の入ったおもちゃの動作確認も併せて行い、乾電池が切れている場合は即座に交換しています。

利用促進や利用者増に繋がる方策の実施（効果性⑥）

・食生活改善推進協議会さんとの連携(再掲③⑥⑭)

・母親クラブ活動の充実(再掲③⑥)

・民生委員さんによる託児協力(再掲⑤⑥⑭)

・インスタグラムによる広報宣伝活動(再掲②⑥)

・全児童館・児童センターの案内をおたよりに掲載(再掲②⑥)

・「ツナグテ」利用者へのPR(再掲②⑥)

・幼児クラブ申し込み連携(再掲②⑥)

・「家族みんなで・・・」イベントの開催(再掲③⑤⑥)

・おしゃべりタイムの開催(再掲③⑤⑥)

・異年齢交流の促進(再掲⑤⑥)

・新しいおもちゃの購入(再掲④⑥)

・ゲームマスターズウィークの開催

みんなでゲームに取り組むことで子どもたちの交流を促すとともに、新しいゲームの楽しさを発見し、より高い得点を目指して自分たちで工夫をしていく機会を提供することができました。ゲームのルールを子どもたち同士で相談し、次の日も繰り返し楽しめる内容としました。また、ゲームの得点の上位者を壁に掲示し、自分の名前を見て喜び子や、さらに上の得点を目指してまた来たいと言う子もあり、リピーターが増えました。

10月：ダーツ 5人、11月：けん玉 18人、12月：ソフトダーツ 33人、1月：コマまわし 8人、2月：パバぬき 17人

今期の取組み
に対する評価

・クラフトウィークの開催
いつでもクラフトより手の込んだクラフト講座を、より多くの子どもたちに体験していただけるようクラフトウィークとして開催しました。
10月: スピンボール 11人、11月: プラバン 35人、12月: ペンたてボックス 31人、1月: 1～6月までのカレンダー作り 12人、2月: けいとのミニぼうし 8人、3月: 色えんぴつプラバン 56人
・単発イベント(クラフトなど)
季節に合わせたクラフトや簡単なゲームなどを開催しました。
12月: お正月かざり作り 4人、1月: キャンディホルダーづくり 11人、3月: ミニバスケット作り 8人

職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加 (安定性安全性⑫)

・職員スキルアップ研修会(6月～1月、4回開催、下半期は2回開催) 各児童館・児童センター職員1名以上が参加
10月23日: 日光児童センター 10名参加 内容: けん玉ショーとけん玉の実技指導
11月14日: 長森児童センター 10名参加 内容: 絵本の読み聞かせのポイント(講師: メディアコスモス司書)
・こどもの人権研修会
2月21日: 事務局、
講師: 岐阜市役所人権啓発センター職員
参加: 7名
内容: こどもの人権について
・BCP(業務継続計画)研修会
10月18日: 事務局
参加10名(児童館・児童センター)
内容: BCP自然災害編と感染症発生時編の内容について
・虐待防止研修会(再掲⑫⑬)
1月23日: 事務局
参加10名(児童館・児童センター)講師: 岐阜県障害者権利擁護センター所長
内容: 児童虐待とは、何が虐待を招くのか など
・情報セキュリティ研修
12月6日
講師: 民間企業職員
内容: メール誤送信、情報漏えい対策など。

リスク防止策の実践 (安定性安全性⑬)

・業務継続計画(BCP)の作成と運用
感染症(新型コロナウイルス感染症等)感染者が施設内で発生した場合、また、自然災害(大規模地震や洪水等)が発生した場合に施設職員がとるべき行動を定めるとともに、平時から円滑に実行できる準備を定めた業務継続計画の感染症発生時編と自然災害編を作成し、運用を始めました。
・小学校先生との情報交換会・研修会の開催(再掲④⑬⑭)・虐待防止委員会の開催
当事業団児童館・児童センター所長9名による虐待防止委員会児童部門を開催。各施設での事例を参考に虐待防止に向けた対応策について研究しました。
・虐待防止研修会の開催(再掲⑫⑬)
・電子メールの誤送信対策の徹底
黒野児童館では、メールアドレスを他者に漏洩することがないように電子メールを使用して一斉配信をする際は、自動的にBCCに変換できるソフトを導入し、対策しています。
・子どもの居場所づくりの推進(再掲④⑬)
・子ども110番の家の登録(再掲⑬⑮)
子どもが助けを求めた際、その子どもを保護し、必要により警察、学校、家庭などへ連絡するなど、地域ぐるみで子どもたちの安全を守るため、子ども110番の家に登録しています。
トイレを借りたい、傘を貸してほしい、など子どもたちのニーズに応えました。
・合同避難訓練の実施(再掲⑬⑮)
黒野児童館は黒野保育所との複合施設であることから、黒野保育所と合同で避難訓練を実施しました。黒野児童館各室は2階にあることから、火災の際の避難誘導をより迅速・的確に行う必要があり、職員一人ひとりの日頃の準備が大切です。また、岐阜北消防署黒野分署の協力により消防車の展示や、消火器訓練も実施していただき、参加した幼児たちは間近に見る消防車に目を輝かせていました。
・帰宅時の声掛け
児童館前の道路は、道路幅の割に交通量が多く、スピードを出す車が多いため注意が必要なことから、子どもたちに「車に気を付けて帰るように」と必ず声掛けをしました。特に下半期は夕暮れが早く閉館時間近くには暗くなるため注意喚起をしました。
・おもちゃの清拭の徹底(再掲⑤⑬)

地元の諸団体との連携、交流 (貢献性⑭)

・ちびっこまつりの開催(再掲②③⑭)
・小学校先生との情報交換会・研修会の開催(再掲④⑬⑭)

地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用

・食生活改善推進協議会さんとの連携(再掲③⑥⑭)
・民生委員さんによる託児協力(再掲⑤⑥⑭)

<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p>○小学校と連携し、子どもたちの学校・児童館それぞれの様子を共有することで、子どもたちの「変化」に早く気づき、迅速な対応につなげる取組みは評価できる。 →評価いただきありがとうございます。子どもたちの姿をよく観察し、変化に気づき、適切に対応をしていけるよう小学校の先生と情報を共有します。</p> <p>○児童館が夏休みの暑さ対策としての、クーリングスポットとなるよう児童に呼びかける取組みは評価できる。 →評価いただきありがとうございます。来年度は岐阜市内の全児童館・児童センターをクーリングスポットとして活用し、熱中症対策を行うことができるよう取り組んでいただけると良いと思います。</p> <p>○苦情対応の改善に向けて取り組んでいる。 →ご意見いただきありがとうございます。今後も利用者ニーズに沿って事業を行うとともに、苦情があった際の適切な対応を行っていきます。</p> <p>○小学校と子どもの情報を共有し、いじめの早期発見・早期対応に向けて取り組んでいることは評価できる。 →評価いただきありがとうございます。子どもたちの姿をよく観察し、変化に気づき、適切に対応をしていけるよう小学校の先生と情報を共有してまいります。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>○学校や家庭に居場所がない子どもたちを支援するため、来館した1人ひとりの児童に目を配り、話しかけ、必要に応じて学校など他の機関との連携強化を図り、児童館の「子どもの居場所機能」を充実します。</p> <p>○事業団児童館所長で組織する虐待防止委員会や外部講師による虐待防止研修会で事例研究を進め、虐待の早期発見・即時対応に努めます。</p> <p>○子どもたちの意見を尊重し主体性を生かす事業を実施します。</p> <p>○幼児室での読み聞かせなど、親子のふれあいを大切に活動に取り組めます。</p> <p>○妊婦さんや母親の居場所づくりに向けた取り組みを行います。</p> <p>○男性の主体的な育児参画を促すため、「家族みんなで」講座を開催します。</p> <p>○虐待防止、普通救命講習、熱中症対策、不審者対策などの各種研修により、リスク対応力強化に取り組めます。</p> <p>○Instagramによる広報宣伝活動を充実させ、特に乳幼児を持つお母さん方への広報宣伝活動を強化します。</p>

●所管課の意見

- これまで児童館に来たことがない方に児童館に来館してもらうために積極的に広報・宣伝に努めている。
- 乳幼児を抱っこしたお母さんの不便を解消する取り組みを行うなど利用者にとって目線で運営できている。
- 地域との連携・交流に積極的に取り組んでいる。

●指定管理者評価委員会の意見

- ・子ども100番の取組みについて、地域によっては行っていないところが多いが、地域と連携して実施している点は評価できる。
- ・立ったままの姿勢でも楽に入館カードに記入できるようするなど、利用しやすい環境整備に努めている点は評価できる。
- ・母親同士の交流する場を設け、育児ストレスを軽減する取り組みを行っている点は評価できる。